

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

971 観光基盤整備事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政 策	4	観光の稼ぐ力の強化
施 策	1	観光客受入体制の整備
取組方針	2	観光基盤の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	中事業	観光基盤整備事業		

事業種別	継続		関連個別計画		
事業年度	無し	～	無し	観光課	谷 昌樹 435-1234
事業実施の根拠法令			関連課		

1 事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
事業目的	訪れた人が、安全・安心で快適な観光施設の整備を進め、おもてなしの向上を図る。		観光客受入体制整備の一つとして観光施設等を整備し、観光地としての魅力向上と、観光客の満足度を上げ、観光客数の増加につなげる。			
事業内容		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
		○友ヶ島野奈浦栈橋の設計 ○和歌浦観光遊歩道の整備	○友ヶ島野奈浦栈橋の整備 ○雑賀崎灯台外壁改修工事	観光案内板、友ヶ島、わかちか広場の整備等	観光案内板、友ヶ島、わかちか広場の整備等	

2 事業コスト

事業費等（千円）		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		0	102,225	568,947	220,000	14,228	377,700	0	0	0	0
伸び率（％）		△100%	151.3%	0%	115.2%	△97.5%	71.7%	△100%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	11,403	11,171	11,522	12,067	13,870	13,792	13,792	0	13,792	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	11,403	11,171	11,522	12,067	13,870	13,792	13,792	0	13,792	0
国庫支出金		0	47,243	111,091	0	0	117,592	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	1,311	897	0	0	0	0
市 債		0	49,800	457,800	162,800	0	202,600	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		0	5,182	56	57,200	12,917	56,611	0	0	0	0
所要人数 （人）	正規職員	1.47	1.44	1.48	1.55	1.78	1.77	1.77	0.00	1.77	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳											

3 目標及び実績

	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
活動指標	観光案内板、雑賀崎灯台周辺の整備、和歌浦観光遊歩道の整備、友ヶ島砲台跡の整備	件	目標値	2	2	6	2	
			実績値	1	0	5		
			達成度(%)	50%	0%	83.3%	%	%
			目標値					
成果指標	年間観光客数（暦年）	千人	実績値					
			達成度(%)					
			目標値	7,090	7,120	7,150	7,180	7,210
	友ヶ島来島者数	人	実績値	5,629	6,279	6,151		
			達成度(%)	79.4%	88.2%	86%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	2025年の大阪・関西万博を見据え、インバウンドを含む多くの観光客が安心して訪れ、快適に楽しんでもらえるよう、安全性だけでなく利便性や魅力向上を見据えた受入環境の整備を進める必要がある。
見直し・改善内容	快適で安全な観光地づくりを実現するため、今後更なる増加が見込まれるインバウンドにも対応した観光客の受入環境の整備や、各ターゲットに向けた新たな魅力作りに向けた準備に取り組んでいく。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

979 観光案内事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政 策	4	観光の稼ぐ力の強化
施 策	1	観光客受入体制の整備
取組方針	2	観光基盤の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	中事業	観光案内事業		

事業種別	継続		関連個別計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	観光課 谷 昌樹 435-1234
事業実施の根拠法令			関連課		

1 事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要		
事業目的	観光客をスムーズに目的の観光地へ案内したり、和歌山市の魅力ある観光スポットを紹介できるようにする。		ＪＲ和歌山駅・和歌山城にある観光案内所の運営、まちなか観光案内所の運営を行うことで、観光客の市内周遊や長期滞在を促進する。		
事業内容		令和04年度 ＪＲ和歌山駅・和歌山城にある観光案内所の運営、まちなか観光案内所の運営	令和05年度 ＪＲ和歌山駅・和歌山城にある観光案内所の運営、まちなか観光案内所の運営	令和06年度 ＪＲ和歌山駅・和歌山城にある観光案内所の運営、まちなか観光案内所の運営	令和07年度 ＪＲ和歌山駅・和歌山城にある観光案内所の運営、まちなか観光案内所の運営、ＪＲ和歌山駅観光案内所の機能強化

2 事業コスト

事業費等（千円）		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		7,561	7,561	7,654	7,654	8,585	8,585	11,579	0	11,579	0
伸び率（％）		△2%	△2%	1.2%	1.2%	12.2%	12.2%	34.9%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	1,397	1,397	1,402	1,480	1,559	1,715	1,715	0	1,715	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1,397	1,397	1,402	1,480	1,559	1,715	1,715	0	1,715	0
国庫支出金		3,780	3,780	3,827	3,827	4,292	4,292	5,789	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市 債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		3,781	3,781	3,827	3,827	4,293	4,293	5,790	0	11,579	0
所要人数 （人）	正規職員	0.18	0.18	0.18	0.19	0.20	0.22	0.22	0.00	0.22	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		観光案内業務委託料 8, 5 8 5 千円									

3 目標及び実績

指標名		単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
活動指標	観光案内所数	箇所	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
	まちなか案内所数	箇所	目標値	25	25	25	25	25
			実績値	16	16	16		
			達成度(%)	64%	64%	64%	%	%
成果指標	年間観光客数（暦年）	千人	目標値	7,090	7,120	7,150	7,180	7,210
			実績値	5,629	6,279	6,152		
			達成度(%)	79.4%	88.2%	86.1%	%	%
	観光案内所での案内件数（暦年）	人	目標値	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000
			実績値	10,852	12,916	15,318		
			達成度(%)	8.5%	17.2%	20.5%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○ 達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	令和6年度の観光入込客数は、令和5年に実施されていた県の旅行支援策「リフレッシュプラン」の終了や、8月に発表された南海トラフ地震臨時情報による旅行・海水浴需要の落ち込み等により減少しているが、案内所での案内件数は増加している。 令和7年度は大阪・関西万博の開催により、観光客の増加が見込まれることから、来訪者の満足度を高めるべく、本市の玄関口であるJR和歌山駅の観光案内所の機能強化を図る予定としている。
見直し・改善内容	本市を高野山や世界遺産観光の入口とする「観光ゲートウェイ化」に向けて、案内の充実、観光案内所における外国人観光客への対応を強化するとともに、地域活性化起業人によるマーケティング等も踏まえ、受入体制の強化に努める。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

274

友ヶ島管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政 策	4	観光の稼ぐ力の強化
施 策	1	観光客受入体制の整備
取組方針	3	観光資源の魅力向上

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	中事業	友ヶ島管理事業		

事業種別	継続		関連個別計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	観光課 谷 昌樹 435-1234
事業実施の根拠法令			関連課		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	来島者への安全・安心・快適な島内環境づくりを図っていく。		友ヶ島の維持管理を行い、来島者数の増加及び満足度の向上につなげる。			
事業内容		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
		島内パイオトイレの維持管理、島内各施設の維持管理、松くい虫の予防、友ヶ島の清掃・維持管理の委託	島内パイオトイレの維持管理、島内各施設の維持管理、松くい虫の予防、友ヶ島の清掃・維持管理の委託	島内パイオトイレの維持管理、島内各施設の維持管理、松くい虫の予防、友ヶ島の清掃・維持管理の委託	島内パイオトイレの維持管理、島内各施設の維持管理、松くい虫の予防、友ヶ島の清掃・維持管理の委託	

2 事業コスト

事業費等（千円）		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		25,102	23,067	25,854	24,969	24,631	23,920	23,197	0	23,197	0
伸び率（％）		△2.8%	△8.2%	3%	8.2%	△4.7%	△4.2%	△5.8%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	11,403	11,171	11,522	12,067	12,390	13,792	13,792	0	13,792	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	227	0	227	0
	小計	11,403	11,171	11,522	12,067	12,390	13,792	14,019	0	14,019	0
国庫支出金		7,607	7,607	7,607	7,607	7,607	7,606	7,607	0	0	0
県支出金		1,152	1,139	1,702	1,702	955	904	1,451	0	0	0
市 債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		637	638	637	637	637	882	1,210	0	0	0
一般財源（税等）		15,706	13,683	15,908	15,023	15,432	14,528	12,929	0	23,197	0
所要人数 （人）	正規職員	1.47	1.44	1.48	1.55	1.59	1.77	1.77	0.00	1.77	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
主な予算内訳		管理委託料18,735千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名		単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	観光パンフレット配布数		枚	目標値	90,000	90,000	90,000	90,000	
				実績値	50,000	50,000	34300		
				達成度(%)	55.6%	55.6%	38%	%	%
				目標値					
成果指標	友ヶ島来客数		人	実績値					
				達成度(%)					
				目標値	82,640	86,320	90,000	90,000	90,000
				実績値	47,912	48,951	48381		
				達成度(%)	58.0%	56.7%	53.7%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○ 達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

担当課評価の根拠	友ヶ島は瀬戸内海国立公園の一部であり、自然が多く残る無人島で、そこが魅力の観光地であるが、それが故に、倒木や落石、散策路面の劣化、施設の老朽化など、来島者を受け入れる体制として、改善していかなければならない問題点も多く、敷地面積が広大なことから、管理委託や修繕の範囲では追い付かなくなっている実情がある。
見直し・改善内容	受入体制として、管理上問題となっている事を整理し、計画的に改善を行う。 また、必要な予算措置を講じ、来島者が安心して快適に観光を楽しめるよう環境整備を進めていく。 それに加え、近年、台風や豪雨等による被害が増加しているため、災害対策及び被災後の安全管理体制の強化を図り、安定した受入ができるよう体制を整えていく。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

795 観光施設管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政 策	4	観光の稼ぐ力の強化
施 策	1	観光客受入体制の整備
取組方針	3	観光資源の魅力向上

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	中事業	観光施設管理事業		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 観光課 谷 昌樹 435-1234
事業実施の根拠法令			関連課	

1 事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要		
事業目的	観光施設の維持管理を行い、観光客の受入体制を整備することで利用者（来訪者）の増加を図る。		観光施設の維持管理を行い、観光客の受入体制の整備を図る。		
事業内容		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		観光施設の維持管理（市営片男波海水浴場駐車場、和歌浦観光遊歩道路、雑賀崎観光灯台、わかちか広場等）	観光施設の維持管理（市営片男波海水浴場駐車場、和歌浦観光遊歩道路、雑賀崎観光灯台、わかちか広場等）	観光施設の維持管理（市営片男波海水浴場駐車場、和歌浦観光遊歩道路、雑賀崎観光灯台、わかちか広場等）	観光施設の維持管理（市営片男波海水浴場駐車場、和歌浦観光遊歩道路、雑賀崎観光灯台、わかちか広場等）

2 事業コスト

事業費等（千円）		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		24,000	33,147	24,756	24,937	25,322	23,085	27,902	0	27,902	0
伸び率（％）		3.8%	52.7%	3.2%	△24.8%	2.3%	△7.4%	10.2%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	8,611	8,378	8,642	9,031	7,715	10,364	10,364	0	10,364	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	1,950	0	1,950	0
	小計	8,611	8,378	8,642	9,031	7,715	10,364	12,314	0	12,314	0
国庫支出金		0	7,865	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		104	103	0	0	0	0	67	0	0	0
市 債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		6,091	6,627	6,091	0	6,162	6,294	6,323	0	0	0
一般財源（税等）		17,805	18,552	18,665	24,937	19,160	16,791	21,512	0	27,902	0
所要人数 （人）	正規職員	1.11	1.08	1.11	1.16	0.99	1.33	1.33	0.00	1.33	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.86	0.00	0.86	0.00
主な予算内訳		管理委託料10,011千円、駐車場管理運営委託料5,764千円、光熱水費3,475千円									

3 目標及び実績

	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
活動指標	市営片男波海水浴場駐車場利用台数	台	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	
			実績値	13,537	11,588	11516		
			達成度(%)	67.6%	57.9%	57.6%	%	%
成果指標	片男波海水浴場利用者数	人	目標値	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
			実績値	183419	147781	146160		
			達成度(%)	73.4%	59.1%	58.5%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○ 達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	現在、管理している施設は、設置から長い年月が経過し、耐用年数を超えているものも多く、年々修繕案件が増えているが、予算上の制約から全てを修繕するのは難しく、老朽化が進んでいても修繕が後回しになっている場合がある。 観光施設の老朽化は、機能不全に加え、観光地としてのイメージダウンにもつながることから、コストを投入して、受入環境を整える必要がある。
見直し・改善内容	観光客が安心してかつ快適に楽しんでもらえるよう、必要な維持修繕を行うとともに、観光地としてのイメージアップを考え、より環境の整った維持管理を行っていく。また、必要性の低い施設は、閉鎖や縮小を視野に考えていく。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

20483

和歌山城公園施設整備事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政 策	4	観光の稼ぐ力の強化
施 策	1	観光客受入体制の整備
取組方針	3	観光資源の魅力向上

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	和歌山城公園管理費		
	大事業	和歌山城公園管理事業		
	中事業	和歌山城公園施設整備事業		

事業種別	継続		関連個別計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	和歌山城整備企画課 南 秀樹 435-1044
事業実施の根拠法令			関連課		

1 事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要		
事業目的	和歌山城公園・岡公園の各施設の修繕・工事・業務委託等により整備を図り、来園者に安全で快適な環境づくりを行う。		和歌山城公園・岡公園の施設整備、充実に要する経費		
事業内容		令和04年度 老朽化した施設・道具等の修繕・整備工事等を行う。 工事完成後は、施工業者から提出される報告書を基に、担当者が現場確認を行っている。	令和05年度 老朽化した施設・道具等の修繕・整備工事等を行う。 工事完成後は、施工業者から提出される報告書を基に、担当者が現場確認を行っている。	令和06年度 老朽化した施設・道具等の修繕・整備工事等を行う。 工事完成後は、施工業者から提出される報告書を基に、担当者が現場確認を行っている。	令和07年度 老朽化した施設・道具等の修繕・整備工事等を行う。 工事完成後は、施工業者から提出される報告書を基に、担当者が現場確認を行っている。

2 事業コスト

事業費等（千円）		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		10,661	10,951	39,924	33,879	11,150	9,478	10,581	0	10,581	0
伸び率（%）		0%	0%	274.5%	209.4%	△72.1%	△72%	△5.1%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	15,437	16,445	16,505	16,193	16,208	19,792	19,792	0	19,792	0
	正規職員以外	3,663	3,663	4,842	4,796	4,862	1,202	1,406	0	1,406	0
	小計	19,100	20,108	21,347	20,989	21,070	20,994	21,198	0	21,198	0
国庫支出金		0	0	11,124	8,925	0	0	1,516	0	1,516	0
県支出金		247	225	0	0	0	0	0	0	0	0
市 債		0	0	0	0	0	0	1,300	0	1,300	0
そ の 他		0	581	0	57	0	39	0	0	0	0
一般財源（税等）		10,414	10,145	28,800	24,897	11,150	9,439	7,765	0	7,765	0
所要人数（人）	正規職員	1.99	2.12	2.12	2.08	2.08	2.54	2.54	0.00	2.54	0.00
	正規職員以外	1.27	1.27	1.28	1.26	1.26	0.53	0.62	0.00	0.62	0.00
主な予算内訳		所々修繕料（5, 7 2 4 千円）、維持修繕工事請負費（4, 0 2 7 千円） 等									

3 目標及び実績

指標名		単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
活動指標	公園内修繕件数	件	目標値					
			実績値	27	25	25		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
	整備（工事）件数	件	目標値	1	0	1		
			実績値	1	0	1		
			達成度(%)	100%	%	100%	%	%
成果指標	天守閣の入場者数	人	目標値	322,000	336,000	223,750	232,500	241,250
			実績値	176,897	214,141	232,874		
			達成度(%)	55%	64%	104%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	和歌山城公園は多くの方が訪れる都市公園であり、来園者の利便性の向上や安全性の確保等に努める必要がある一方で、和歌山城は国史跡に指定されており、大幅な現状変更や景観の改変は原則として認められないため、事業にあたっては文化財保護との調和を図りながら慎重に進める必要があると考えられるため、現状維持とした。
見直し・改善内容	和歌山城は貴重な文化財であるが、単なる保存にとどまらず、多様化する市民ニーズに応えるためにもできるだけ有効に活用することを念頭に、事業を進めたいと考えている。

事務事業チェックシート

事務事業No 13724 事業名 観光情報発信事業

[長期総合計画]		
分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政 策	4	観光の稼ぐ力の強化
施 策	2	観光客の誘致
取組方針	1	ターゲットを絞った積極的な観光情報の発信

[事業基本情報]				
事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	中事業	観光情報発信事業		

事業種別	継続		関連個別計画		
事業年度	無し	～	無し	観光課	谷 昌樹 435-1234
事業実施の根拠法令			関連課		

1 事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要		
事業目的	観光情報を様々な手法により発信することで、観光客の誘致を図る。		パンフレット、ホームページ、SNS広告等の充実に努めることにより、効果的な観光情報発信を行う。		
事業内容		令和04年度 パンフレット、ポスター、ホームページ製作	令和05年度 パンフレット、ポスター、ホームページ、広報用グッズ製作	令和06年度 パンフレット、ポスター、ホームページ、広報用グッズ製作	令和07年度 パンフレット、SNS広告、ホームページ、広報用グッズ製作
					令和08年度

2 事業コスト

事業費等（千円）		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		8,534	8,028	8,187	8,058	12,752	22,864	14,247	0	14,247	0
伸び率（％）		△31.7%	△24.1%	△4.1%	0.4%	55.8%	183.7%	11.7%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	7,137	6,982	7,163	7,552	7,715	8,572	8,572	0	8,572	0
	正規職員以外	758	758	749	749	749	341	0	0	0	0
	小計	7,895	7,740	7,912	8,301	8,464	8,913	8,572	0	8,572	0
国庫支出金		3,458	3,410	3,532	3,750	5,811	9,358	6,522	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	1,266	0	0	0	0
市 債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		5,076	4,618	4,655	4,308	6,941	12,240	7,725	0	14,247	0
所要人数 （人）	正規職員	0.92	0.90	0.92	0.97	0.99	1.10	1.10	0.00	1.10	0.00
	正規職員以外	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.15	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		印刷製本費 4, 8 2 9千円、業務委託料 1, 4 3 3千円									

3 目標及び実績

	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
活動指標	パンフレット配布数	枚	目標値	300,000	300,000	300,000	300,000	
			実績値	100,000	146,860	194500		
			達成度(%)	33.3%	49.0%	64.8%	%	%
成果指標	年間宿泊者数（暦年）	万人	目標値	105	107	108	109	111
			実績値	87	99	101		
			達成度(%)	82.9%	92.5%	93.5%	%	%
	年間観光客数（暦年）	千人	目標値	7,090	7,120	7,150	7,180	7210
			実績値	5,629	6,279	6151		
			達成度(%)	79.4%	88.2%	86%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	本市が有する多彩な観光の魅力を市外にPRするためには、観光パンフレットやSNS発信、ウェブ等による効果的な情報発信が不可欠である。令和6年度に実施したSNS広告では、広告配信中の観光課公式Instagramは、前月の約5.7倍のリーチがあり、多言語ホームページの閲覧者数も前月の約4.4倍に増加する結果であったことから、より効果的なPRとなるよう、内容・手法等を十分に吟味しながら、引き続き情報発信に取り組んでいく。
見直し・改善内容	情報の発信について、ターゲットごとに媒体や発信内容を見直すとともに、令和6年度に効果のあったSNS広告を積極的に実施していくものとする。また、自治体国際化協会（CLAIR/クレア）を通じた海外向け情報発信も積極的に活用することで、本市の魅力発信を進めていく。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

1175

広域観光連携事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政 策	4	観光の稼ぐ力の強化
施 策	2	観光客の誘致
取組方針	2	外国人観光客の誘致促進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	中事業	広域観光連携事業		

事業種別	継続		関連個別計画		
事業年度	無し	～	無し	観光課	谷 昌樹 435-1234
事業実施の根拠法令			関連課		

1 事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要		
事業目的	海外からの観光客誘致を図るとともに、広域的な観光地としての魅力向上を図る。		周辺市町村を含めた広域的な観光地としての魅力を向上させるため、各種団体との連携を行う。		
事業内容		令和04年度 ○紀の川みち広域観光連絡協議会との連携 ○関西国際空港内広域観光案内推進協議会との連携 ○和みわかやまキャンペーンとの連携 ○日本遺産活用推進協議会との連携	令和05年度 日本遺産活用推進協議会との連携、関西国際空港内観光案内所の運営、和みわかやまキャンペーンとの連携等	令和06年度 日本遺産活用推進協議会との連携、関西国際空港内観光案内所の運営、和みわかやまキャンペーンとの連携等	令和07年度 日本遺産活用推進協議会との連携、関西国際空港内観光案内所の運営等
		令和08年度			

2 事業コスト

事業費等（千円）		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		4,906	4,425	4,464	4,426	4,272	4,250	3,942	0	3,942	0
伸び率（％）		△9.3%	△16.2%	△9%	0%	△4.3%	△4%	△7.7%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	2,871	2,793	2,881	3,037	3,117	3,429	3,429	0	3,429	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2,871	2,793	2,881	3,037	3,117	3,429	3,429	0	3,429	0
国庫支出金		2,314	2,155	2,190	1,791	2,109	2,060	1,917	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市 債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	368	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		2,592	1,902	2,274	2,635	2,163	2,190	2,025	0	3,942	0
所要人数（人）	正規職員	0.37	0.36	0.37	0.39	0.40	0.44	0.44	0.00	0.44	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		各種会議負担金2， 7 9 1千円 観光事業負担金1， 6 3 0千円									

3 目標及び実績

	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
活動指標	県外向けイベント（大阪アトリウム広場イベント等）パンフレット配布数	枚	目標値	500	500	500	500	500
			実績値	0	0	0		
			達成度(%)	0%	0%	0%	%	%
	関西国際空港内案内所へのパンフレット配布	枚	目標値	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000
			実績値	4,000	4,000	6,571		
			達成度(%)	25%	25%	41.1%	%	%
成果指標	年間観光客数（暦年）	千人	目標値	7,090	7,120	7,150	7,180	7,210
			実績値	5,629	6,279	6,152		
			達成度(%)	79.4%	88.2%	86.1%	%	%
	外国人宿泊客数（暦年）	人	目標値	128,459	130,202	131,945	133,688	135,431
			実績値	9,992	74,110	95,158		
			達成度(%)	7.8%	56.9%	72.2%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

担当課評価の根拠	観光ゲートウェイ化を目指す上で、各協議会などと連携しながら広域的な観光プロモーションを行い、来訪者の滞在時間増に向けた取組を行うことで、国内外からの観光客数の増加及び観光消費の増進を図る必要がある。
見直し・改善内容	インバウンドの回復や、大阪・関西万博開催など関西への来訪者が増加するチャンスを生かすべく、各協議会において、より効果的な広域連携ができるよう取り組んでいくとともに、周辺自治体や交通事業者、各種団体などと積極的に連携を図っていく。 令和7年度は、日本遺産「葛城修験」の修験道への看板設置及び案内マップを作成することで、受入体制を強化する予定としている。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

106

観光イベント事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政 策	4	観光の稼ぐ力の強化
施 策	2	観光客の誘致
取組方針	3	多様な誘致活動の展開

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	中事業	観光イベント事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し ～ 無し	担当課・担当課長・Tel	観光課	谷 昌樹	435-1234
事業実施の根拠法令		関連課			

1 事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
事業目的	和歌山市において様々なイベントを展開し、県内外からの観光客誘致を図る。 またイベントにおいては、市民間で価値観を共有するためのコンセプトやテーマを設定するなど、若い世代にも浸透する仕掛けを施す。		和歌山市において様々なイベントを展開し、県内外からの観光客誘致を図ることに加え、市民の郷土愛醸成を目指す。			
事業内容		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
		紀州おどりの開催、和歌祭の開催	紀州おどりの開催、和歌祭の開催	紀州おどりの開催、和歌祭の開催	紀州おどりの開催、和歌祭の開催	

2 事業コスト

事業費等（千円）		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		24,559	18,560	19,134	18,630	15,217	14,830	16,669	0	16,669	0
伸び率（％）		14.1%	14.8%	△22.1%	0.4%	△20.5%	△20.4%	9.5%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	14,273	13,963	14,403	15,103	15,429	17,221	17,221	0	17,221	0
	正規職員以外	1,489	1,489	1,449	1,449	1,477	0	0	0	0	0
	小計	15,762	15,452	15,852	16,552	16,906	17,221	17,221	0	17,221	0
国庫支出金		12,279	9,280	9,567	9,315	2,658	2,658	3,385	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市 債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		12,280	9,280	9,567	9,315	12,559	12,172	13,284	0	16,669	0
所要人数 （人）	正規職員	1.84	1.80	1.85	1.94	1.98	2.21	2.21	0.00	2.21	0.00
	正規職員以外	0.29	0.29	0.29	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		紀州おどり開催交付金 9,900千円 和歌祭開催交付金 5,317千円									

3 目標及び実績

指標名		単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
活動指標	イベント開催数	件	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	1	1	2		
			達成度(%)	50%	50%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	観客動員数	人	目標値	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
			実績値	50,000	50,000	120,000		
			達成度(%)	25%	25%	60%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○ 達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	祭りを次世代に継承していくための取組を進めるとともに、インバウンドをはじめ観光客も参加できる仕掛けの用意など、観光客が楽しめる仕組みづくりに積極的に取り組んでいく。
見直し・改善内容	イベントと連動した観光消費促進の実現に向けた方策を検討し、新たな観光コンテンツとの組合せなどにより、本市ならではのツーリズム造成につなげていく。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

559

ロケ誘致事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政 策	4	観光の稼ぐ力の強化
施 策	2	観光客の誘致
取組方針	3	多様な誘致活動の展開

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	中事業	ロケ誘致事業		

事業種別	継続		関連個別計画		
事業年度	無し	～	無し	観光課	谷 昌樹 435-1234
事業実施の根拠法令			関連課		

1 事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
事業目的	映像を通して本市の認知度向上やイメージアップを図り、観光誘客に努める。		各種ロケの誘致活動や、本市で行われるロケに対する支援活動を充実させることにより観光振興を図る。			
事業内容		令和04年度 映画・ドラマ等のロケ撮影に対する情報提供、エキストラの手配、撮影の同行、和歌山市ロケ地情報の作成	令和05年度 映画・ドラマ等のロケ撮影に対する情報提供、エキストラの手配、撮影の同行、和歌山市ロケ地情報の作成	令和06年度 映画・ドラマ等のロケ撮影に対する情報提供、エキストラの手配、撮影の同行、和歌山市ロケ地情報の作成	令和07年度 映画・ドラマ等のロケ撮影に対する情報提供、エキストラの手配、撮影の同行	令和08年度

2 事業コスト

事業費等（千円）		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伸び率（％）		△100%	△100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人件費	正規職員	10,007	9,774	10,043	11,834	10,831	12,078	12,078	0	12,078	0
	正規職員以外	514	514	0	500	0	0	0	0	0	0
	小計	10,521	10,288	10,043	12,334	10,831	12,078	12,078	0	12,078	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市 債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
所要人数 （人）	正規職員	1.29	1.26	1.29	1.52	1.39	1.55	1.55	0.00	1.55	0.00
	正規職員以外	0.10	0.10	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳											

3 目標及び実績

	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
活動指標	ロケ相談件数	件	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	23	25	19		
			達成度(%)	46%	50%	38%	%	%
成果指標	ロケ実施件数	件	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	23	25	15		
			達成度(%)	46%	50%	30%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70～90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない		制約はあるが可能性はある	○ できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小		○		
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	T V番組、映画などの撮影に対する誘致、支援活動を充実させることで、メディアに露出する機会を増加、本市の観光資源の魅力をアピールすることができるが、支援内容が多様かつ長時間にわたることも少なくないことから、支援内容の整理が必要である。
見直し・改善内容	あらかじめ支援範囲と対応可能な内容をリスト化し共有するとともに、申請業務やロケ地データベースのデジタル化など業務のスリム化を検討する。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

845

観光支援事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政 策	4	観光の稼ぐ力の強化
施 策	2	観光客の誘致
取組方針	3	多様な誘致活動の展開

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	中事業	観光支援事業		

事業種別	継続		関連個別計画		
事業年度	無し	～	無し	観光課	谷 昌樹 435-1234
事業実施の根拠法令			関連課		

1 事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要		
事業目的	観光振興に寄与する団体に支援を行い、市外（県外）からの観光客誘致を図る。		市内各地域の観光協会や、観光振興に寄与する団体に支援を行う。		
事業内容		令和04年度 紀三井寺さくら祭り・加太観光協会・磯の浦観光協会・片男波海水浴場管理運営事業等への補助	令和05年度 紀三井寺さくら祭り・加太観光協会・磯の浦観光協会・片男波海水浴場管理運営事業等への補助	令和06年度 紀三井寺さくら祭り・加太観光協会・磯の浦観光協会・片男波海水浴場管理運営事業等への補助	令和07年度 紀三井寺さくら祭り・加太観光協会・磯の浦観光協会・片男波海水浴場管理運営事業等への補助、稼げる観光コンテンツ創出支援事業における民間事業者への補助

2 事業コスト

事業費等（千円）		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		16,621	16,033	15,982	15,435	18,581	18,172	20,045	0	20,045	0
伸び率（％）		0%	△0.3%	△3.8%	△3.7%	16.3%	17.7%	7.9%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	5,741	5,586	5,761	5,995	6,156	6,857	6,857	0	6,857	0
	正規職員以外	1,489	1,489	1,449	1,449	1,477	0	0	0	0	0
	小計	7,230	7,075	7,210	7,444	7,633	6,857	6,857	0	6,857	0
国庫支出金		833	834	514	515	2,087	2,014	2,819	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市 債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		7,336	5,071	8,136	0	8,136	2,723	8,136	0	0	0
一般財源（税等）		8,452	10,128	7,332	14,920	8,358	13,435	9,090	0	20,045	0
所要人数 （人）	正規職員	0.74	0.72	0.74	0.77	0.79	0.88	0.88	0.00	0.88	0.00
	正規職員以外	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		片男波海水浴場管理運営交付金 11,400千円、観光地保全管理事業補助金 2,888千円									

3 目標及び実績

	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
活動指標	支援件数	件	目標値	7	7	7	7	7
			実績値	6	6	8		
			達成度(%)	85.7%	85%	115%	%	%
成果指標	観客動員数	人	目標値	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
			実績値	1,180	80,000	80,000		
			達成度(%)	6.6%	444%	444%	%	%
	片男波海水浴場利用者数	人	目標値	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
			実績値	183,419	147,781	146,160		
			達成度(%)	73.4%	59.1%	58.5%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○ 達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	地域の観光協会や観光関連団体等との協働により、地域が主体となった魅力的な観光地づくりや誘客効果があり、かつ事業者に対しても稼げる観光コンテンツの造成を支援することで、継続的な観光客数の増加や観光消費額の増大につなげる。
見直し・改善内容	既存のコンテンツとの組合せなども視野に入れつつ、効果的な支援のあり方について今後検討していく。 また、稼げる観光コンテンツ創出支援事業については、引き続き、新規事業創出への支援を行うとともに、コンテンツの内容充実及び事業の自走化を促すため、2年目以降の支援メニューを追加した。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

863

コンベンション推進事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政 策	4	観光の稼ぐ力の強化
施 策	2	観光客の誘致
取組方針	3	多様な誘致活動の展開

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	中事業	コンベンション推進事業		

事業種別	継続		関連個別計画		
事業年度	無し	～	無し	観光課	谷 昌樹 435-1234
事業実施の根拠法令			関連課		

1 事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
事業目的	コンベンション参加者の宿泊増加を図り、観光リピーターの創出を図る。		「学会」「会議」「各種大会」等の催しに参加し、和歌山市内で宿泊する参加者の延べ人数5人以上のコンベンション主催者に対し補助する。令和7年度からは宿泊する参加者の延べ人数300人以上のコンベンション主催者に対し補助する。また、コンベンション参加者向けにクーポン券を配布し、市内での消費促進を図る。			
事業内容		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
		コンベンション主催者への補助、補助制度のPR	コンベンション主催者への補助、補助制度のPR	コンベンション主催者への補助、補助制度のPR	コンベンション主催者への補助、補助制度のPR	

2 事業コスト

事業費等（千円）		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		19,787	15,045	23,476	23,664	23,279	22,142	38,192	0	38,192	0
伸び率（％）		0%	214.9%	18.6%	57.3%	△0.8%	△6.4%	64.1%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	11,403	11,171	11,522	12,067	12,390	13,792	13,792	0	13,792	0
	正規職員以外	230	230	227	227	227	137	0	0	0	0
	小計	11,633	11,401	11,749	12,294	12,617	13,929	13,792	0	13,792	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	1,053	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市 債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		19,787	15,045	23,476	23,664	23,279	22,142	37,139	0	38,192	0
所要人数（人）	正規職員	1.47	1.44	1.48	1.55	1.59	1.77	1.77	0.00	1.77	0.00
	正規職員以外	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		和歌山市コンベンション事業推進補助金 29,803千円									

3 目標及び実績

	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
活動指標	大会開催回数	件	目標値	80	80	80	40	40
			実績値	49	65	61		
			達成度(%)	61%	81%	76%	%	%
成果指標	宿泊者数	人	目標値	24,800	24,800	24,800	28,700	28,700
			実績値	18,764	28,683	30954		
			達成度(%)	75.7%	115.6%	125%	%	%
	大会参加者数	人	目標値	37,200	37,200	37,200	31,100	31,100
			実績値	24,393	36,652	31880		
			達成度(%)	65.6%	98.5%	85.7%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70～90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	和歌山市でコンベンションが開催されることによって、市内宿泊者等が増加することに加え、本市の知名度・リピート率の向上につながり、民間事業者への経済効果が期待できるため、令和7年度からはコンベンション参加者にクーポン券を配布するなど、さらに市内消費を促進させる取組を行う。また、引き続き学会を中心に、コンベンションの誘致を行い、効果的な開催支援に取り組んでいく。
見直し・改善内容	大会主催者・参加者の満足度を向上させつつ、「IME」や「Japan MICE EXPO」等の展示会で旅行会社や開催団体へのPRを図るなど、和歌山市での大会等開催について戦略的に誘致を進めていく。引き続き市内消費促進の施策についても効果検証及び改善を図る。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

13733

クルーズ船誘致事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政 策	4	観光の稼ぐ力の強化
施 策	2	観光客の誘致
取組方針	3	多様な誘致活動の展開

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
	事業区分(2)	自治事務	法定受託事務	
		その他		
	会計・ 予算区分	会計	一般会計	
		款	商工費	
		項	観光費	
		目	観光振興費	
		大事業	観光振興事業	
		中事業	クルーズ船誘致事業	

事業種別	継続		関連個別計画		
事業年度	無し	～	無し	観光課	谷 昌樹 435-1234
事業実施の根拠法令			関連課		

1 事業内容

		（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
事業目的	和歌山港にクルーズ船を誘致することにより、観光客増加を図るとともに、クルーズ船寄港に伴う経済効果を生み出す。			クルーズ船が寄港した際のおもてなしを行うとともに、寄港地での観光消費額を向上させる施策に取り組む。また、クルーズ船寄港を目指した誘致活動を行う。			
事業内容		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	
		クルーズ船が寄港した際のおもてなしを行うとともに、誘致活動を行う。	クルーズ船が寄港した際のおもてなしを行うとともに、誘致活動を行う。	クルーズ船が寄港した際のおもてなしを行うとともに、誘致活動を行う。	クルーズ船が寄港した際のおもてなしを行うとともに、誘致活動を行う。		

2 事業コスト

事業費等（千円）		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		5,511	1,794	5,443	5,443	1,986	1,986	8,118	0	8,118	0
伸び率（％）		△1.9%	0%	△1.2%	203.4%	△63.5%	△63.5%	308.8%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	7,137	6,982	7,163	7,552	7,715	8,572	8,572	8,572	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	7,137	6,982	7,163	7,552	7,715	8,572	8,572	8,572	0	0
国庫支出金		2,698	896	2,698	2,698	849	849	3,659	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市 債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		2,813	898	2,745	2,745	1,137	1,137	4,459	0	8,118	0
所要人数（人）	正規職員	0.92	0.90	0.92	0.97	0.99	1.10	1.10	1.10	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		観光事業負担金 5, 4 4 3 千円									

3 目標及び実績

	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
活動指標	クルーズ船寄港数	隻	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	1	7	4		
			達成度(%)	33.3%	233.3%	133.3%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	年間観光客数（暦年）	千人	目標値	7,060	7,120	7,150	7,180	7,210
			実績値	5,629	6,279	6,152		
			達成度(%)	79.4%	88.2%	86.1%	%	%
	観光消費額	千円	目標値	51,178,380	51,601,503	52,024,626	52,447,754	52,870,881
			実績値	41,419,276	46,606,398	46,497,752		
			達成度(%)	80.9%	90.3%	%	%	%
	直接経済効果（物産・交通関係の消費額）	円	目標値		900	900	900	900
			実績値		1,150	1,377		
			達成度(%)	%	127.8%	%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	今後もクルーズ船の和歌山港への寄港が複数回予定されており、地域の観光協会や飲食・交通事業者等と連携し、市内周遊や市内での滞在促進施策の強化を図ることで、観光消費額の増加が期待できる。
見直し・改善内容	クルーズ船の寄港時には、県や観光事業者と連携し、市内観光消費額向上の強化に取り組むとともに、市内店舗で利用可能なクーポン券の発行により、市内観光消費額の向上に取り組む。また、クルーズ船の誘致にも引き続き取り組んでいく。

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

387

観光誘客対策事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政 策	4	観光の稼ぐ力の強化
施 策	2	観光客の誘致
取組方針	4	観光客消費喚起の仕組みづくり

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	中事業	観光誘客対策事業		

事業種別	継続		関連個別計画		
事業年度	無し	～	無し	観光課	谷 昌樹 435-1234
事業実施の根拠法令			関連課		

1 事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要		
事業目的	観光客に和歌山市の魅力を伝え、京阪神や閑空から近い観光地「和歌山市」をアピールする。		国内外からの観光客誘致のための施策を行う。また、和歌山市観光協会を「稼ぐ」観光の中核組織と位置付け、官民一体となって、マーケティングによる戦略を基に観光資源の磨き上げやプロモーションの強化を図る。		
事業内容		令和04年度 ○竹燈夜・市民茶会の開催 ○国内外プロモーション等誘客事業の実施 ○和歌山市観光協会への補助 ○温泉 P R 事業の実施 ○宿泊促進事業補助金 ○サマータイムレンダ関連事業の実施	令和05年度 ○竹燈夜・市民茶会の開催 ○和歌山市観光客実態調査の実施 ○国内外プロモーション等誘客事業の実施 ○和歌山市観光協会への補助 ○温泉 P R 事業の実施 ○サマータイムレンダ関連事業の実施	令和06年度 和歌山市観光客実態調査の実施、国内外プロモーション等誘客事業の実施	令和07年度 和歌山市観光客実態調査の実施、国内外プロモーション等誘客事業の実施

2 事業コスト

事業費等（千円）		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		46,973	124,448	34,403	63,842	24,635	31,108	58,187	0	58,187	0
伸び率（％）		13.5%	28.3%	△26.8%	△48.7%	△28.4%	△51.3%	136.2%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	32,890	32,114	33,087	34,644	35,532	39,584	39,584	0	39,584	0
	正規職員以外	2,247	2,247	2,198	2,198	2,226	3,650	0	0	0	0
	小計	35,137	34,361	35,285	36,842	37,758	43,234	39,584	0	39,584	0
国庫支出金		12,660	94,894	12,079	11,956	7,385	10,592	17,876	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	211	0	0	0	0
市 債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		10,000	4,840	0	0	14	14	15	0	0	0
一般財源（税等）		24,313	24,714	22,324	51,886	17,236	20,291	40,296	0	58,187	0
所要人数（人）	正規職員	4.24	4.14	4.25	4.45	4.56	5.08	5.08	0.00	5.08	0.00
	正規職員以外	0.62	0.62	0.62	0.62	0.62	1.61	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		観光協会事業補助金10、268千円、観光協会運営補助金7、881千円、和歌山市温泉宣伝事業交付金4、000千円									

3 目標及び実績

	指標名	単位		令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
活動指標	雑誌等掲載	件	目標値	45	45	45	45	45
			実績値	18	18	18		
			達成度(%)	40%	40%	40%	%	%
	旅行エージェン特等との商談回数	回	目標値		60	80	80	80
			実績値		71	42		
			達成度(%)	%	118.3%	52.5%	%	%
成果指標	年間宿泊者数（暦年）	万人	目標値	105	107	108	109	111
			実績値	87	99	101		
			達成度(%)	82.9%	92.5%	93.5%	%	%
	年間観光客数（暦年）	千人	目標値	7,090	7,120	7,150	7,180	7,210
			実績値	5,629	6,279	6,152		
			達成度(%)	79.4%	88.2%	86.1%	%	%
	観光消費額	千円	目標値	51,178,380	51,601,503	52,024,626	52,447,754	52,870,881
			実績値	41,419,276	46,606,398	46,497,752		
			達成度(%)	80.9%	90.3%	89.4%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	観光客がコロナ禍以前のレベルに回復していることに加え、大阪・関西万博の開催により、今後さらにインバウンドを中心とした観光客の増加が見込まれるため、本市が観光地として選択されるよう、国内外へのプロモーション活動等の誘客施策をより一層強化し、観光消費拡大を目指し、取り組んでいく。
見直し・改善内容	本市ならではのコンテンツ造成を行うとともに、ターゲットを絞った効果的なプロモーションを実施することで、国内外からより多くの誘客を図り、観光消費の拡大につなげていく。 令和7年度は、大阪・関西万博を契機とした誘客強化を図るため、宿泊キャンペーン、国内を重点とした情報発信の強化、首都圏を中心とした旅行会社等を対象にしたファミトリップの開催等を実施する予定としている。